

アマダイ通信NO. 90b

(Tile fish network letter)

2012年 夏椿咲く

知人友人各位

酷電の夏は避けたいものですが、皆様お元気ですか？原発の暗雲は垂れ込めたままですが、今国会で与野党がようやく話し合いのテーブルにつき、政治の膠着状況が変わりそうなのは一步前進です。消費増税で財源が確保される前から、自民党から公共事業の大盤振る舞いを！など、相変わらずの主張が出て来ます。無駄な公共事業に金をばら撒く愚を続け、借金を重ねても景気が浮揚せず下野したことをすっかり忘れてるようです。

◎取るべきは日本型、支出は有効な需要のために！

フランスの政権交替、ギリシャの選挙を経、G8も「成長も重視」を宣言、だがどんな政策を、どの様に実行するのか？その財源をどう確保するのか？5月20日の日経新聞に、90年代の米国ITバブルを「根拠なき熱狂」と呼び、その後の住宅バブルの拡大に早くから警鐘を鳴らした。ロバート・シラーエール大教授の注目記事。

そのシラー教授は「30年代の株価崩落が29～33年、その後37年まで景気回復後景気は再び腰折れ、行き着く先は第二次大戦」、「今回も景気の腰折れを心配している。(政府債務問題を解消しようと)多くの国は財政緊縮策に傾くが、適切な政策とは思わない。「取るべきモデルは日本型だろう。財政出動を繰り返し、国家債務は非常に高水準になったが、低いながらも成長を維持し、恐慌には陥っていない。現実的に我々が認めるベストの道だ。多くの国が景気刺激策を取るべきだ」と。

「経済危機で財政赤字が膨らむのは当然。税収が落ち込む一方、経済を支えるため政府支出を増やさねばならない」からだ。だが、「均衡の取れた景気刺激予算という道がある筈。40年代に経済学者のサラントとサミュエルソンが、増税と歳出拡大を同時に実現すれば、政府債務は膨張しないと論じている。焦点は富裕層への増税。増税しても消費面への影響は小さい。ただ、政治的には正しくても、実行するのは難しい」とも。

この間、所得税、法人税、相続税等、富裕層への減税が繰り返し行われて来た。富裕層への増税、或いはそれと併せた消費税増税で財源を確保、教育、医療や福祉、創薬、ロボット、ITや航空・宇宙、農業・バイオマス、素材や再生可能エネルギー等の分野に投資、雇用を創出し、成長を図るべきだ。ケインズは有効需要を創出するなら「穴を掘って埋めるだけでもいい」と極端なことを言ったが、有効需要はあらためて創るまでもなく我々の眼前にある。国民から集めた血税は文字通り「有効な需要」に支出されなければならない。

◎気候変動とエネルギー問題

三鷹クラブ102回講演会で、講師の深井有中大名誉教授（中公新書に標題と同名の著書あり）は「CO2は地球温暖化の主犯ではない」、「寒冷化が問題だ」という。地球の原始大気はCO2で充満していたが、炭酸ガスを取り込み、酸素を排出する植物の出現で炭酸ガスが減り酸素が増え、人間は生きていられる。温室栽培でCO2濃度を高めると作物の生

育が促進されるが、自分でエネルギーを生産出来ず植物を取り込むことでしか生きていけない動物は、CO₂ 不足で植物が生長しないと食糧難となり、生存が脅かされる。CO₂ 濃度が低くなり過ぎるのは動物にとっても困る。又、石油の中から藻の化石が出現、CO₂ を取り込む藻によって高効率に石油が作られたことが分かる。茎も根も持たず高効率で光合成をする藻で、新たに石油も創り出せるという。

「CO₂ が地球温暖化をもたらす」というドグマを~~も~~も信じて来たが、「国連気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)が捏造したデータに基づき、意図的に作られたドグマで、地球の気候は CO₂ の量ではなく、太陽の活動量と宇宙線の多寡で変化する。直近の寒冷期 17~18 世紀からの温暖化が止まり、寒冷化に向かっていて、それに備える方が大事。地球寒冷化は食料危機に直結する。CO₂ 排出増大は貴重な化石燃料の消費増につながりそれ自体憂慮すべきだが、日本のエネルギー効率(2006 年時点での GDP 当りのエネルギー消費)はアメリカ、EU の 2 倍、中国、インドの 8 倍、ロシアの 18 倍で改善余地は少なく、これら諸国より多くの CO₂ 排出削減義務を負うのは不公平だ。ましてカーボンオフセットで、エネルギー効率の悪い国から CO₂ 排出権を買わなければならないのは不合理だ。

日本の高効率なエネルギー技術を使えば、エネルギー消費をアメリカ、EU は 2 分の 1、中国、インドは 8 分の 1、ロシアは 18 分の 1 に劇的に減らすことが出来る。欧米先進国だけでエネルギー消費の 3 分の 1 を占めるので、日本並みのエネルギー技術を導入すれば消費は半減、世界のエネルギー消費を 6 分の 1 減らし、エネルギー資源を大幅に節約できる。中国、インドやロシアでは更に大きな節約が出来、世界は途上国のエネルギー消費増大に対応出来る。日本の省エネルギー技術は大きな知的財産で、多くの技術者達が営々として築き上げて来た。正当な対価を得て世界的に普及すべきだ。日本の技術が化石エネルギーをより長持ちさせ、日本経済を活性化させる。藻によるオイル生産を含めた自然エネルギーの高効率化、核分裂反応を利用し放射能汚染を伴う原子力発電とは正反対の核融合技術を確立し、地上にミニ太陽を実現、永遠のエネルギーを手に入れられないだろうか？

◎鉄鋼スラグで磯焼けの海を救う！

朝日新聞に、「鉄鋼スラグで磯焼け解消！」の記事。磯焼けの海へ製鉄過程で出る鉍滓(スラグ)で出来た製品を投入、鉄イオンの供給で磯焼けを解消、海藻を増やし、藻場や魚介類の餌を供給、漁業復興に繋げると、我が意を得たりの記事。磯焼けと言っても、最近の日本の海に潜ったことのない方はピンとこないかも知れないが、日本中の磯の海底が白く固い珊瑚藻で覆われ、海藻が生えない、白い墓場と化している。藻場がないと魚が産卵したり、孵化した小魚が隠れる場所がない、魚や貝の餌になる海藻がないと魚貝が育たない。治山治水目的で日本国中の山に堰堤(ダム)が造られた結果、山の土砂が海に流れ込まなくなり、海に有機物や鉄イオンが不足するようになったからだと言われる。

白神山地の麓、秋田県八峰町の岩館という、海と山の間の集落で生まれ育った~~は~~は春・秋はホンダワラや若布の間に潜むアイナメを釣って一匹 10 円でオフクロに売って小遣いとし、夏は朝から日暮れまで日本海に潜ってアワビやサザエを採り、ヤスでアイナメを突き、モズクや天草、布海苔を採る、冬も岩のりを採るなど、大学進学のため上京するまで、春夏秋冬を通じ「生産労働」に勤しむ。時を経て、大分浮力が働く身体になって豊穡の海に飛び込んだ時、赤や緑、茶など色とりどりの海藻が揺れている筈の磯が、真っ白な珊瑚

藻に覆われ、魚貝の影が薄くなっているのを見て驚く。これが磯焼け、白化現象だ。以来豊穡の海を取り戻すにはどうすればいいのか？考える。

広大な海にスラグ製品を入れても、効果が出るのに時間がかかる。まずは海藻を増やし、海藻を食べる貝や、海藻に卵を産み付け幼魚が海藻を隠れ家とするハタハタのような小魚が増え、そんな魚や貝を餌とする大きな魚が増えと、段階的だ。海藻が着床する海底の岩は固く珊瑚藻で覆われているので、海藻が着床し魚や貝の住み家となる漁礁をスラグセメントで作るとか、鉦滓を骨材として護岸用のテトラポットを作るとかの工夫も必要だ。海は広いので、大量にスラグ製品を海に入れないと効果は出ない。

偶々営業顧問をしている鉄鋼商社の阪和興業が、鉄鋼スラグを使った漁場・藻場造成品を扱うという。そのビジネスを手伝う形で、故郷の海を豊かにするお手伝いが出来ればと思う。先日故郷の八峰町でアワビの養殖プロジェクトがスタートしたという秋田魁新報の記事を目にし、加藤八峰町長に餌をどうするの？と電話したところ、北海道から屑昆布を買ってくるとのこと。鉄鋼スラグの有効利用で地先の海でホンダワラや若布が大量に生産されるようになれば、北海道から餌を運ぶ必要もなくなる。更に踏み込んで、北海道の増毛町が漁場・藻場造成品工場を誘致したように、東北の日本海側の製造拠点として八峰町に工場を作り、故郷の町興しにつながらないかなど、妄想を逞しくする。

◎黄金の泉と甘鯛通信の効用！

元ゼネコン設計部に在籍、日本有数の高層ビル会社に転職した通信読者よりメール。湧水が激しいビルがあり、建て替えに当たり、湧水や井水の利用を検討したいとのこと。法令上湧水は浄化しても飲用水には利用できないが、トイレの洗浄中心の中水には利用出来る。電源開発のリスクと費用で百メートル前後の深井戸を掘って揚水、水質・水量に特に問題がなければ膜濾過の高度処理までして飲用にも出来る。御客さんはリスクと投資なしで水道代を削減した上、水道を二重化することで災害時の事業継続性を高め、地域のセキュリティ向上にも貢献出来る。今までは建築工事で高橋カーテンウォールのPCカーテンウォール（都庁舎など高層ビルのコンクリート製外壁パネル）など顧問先のメーカーの建築資材を使って頂いたビルのオーナーに、水道代が節約できます！水道インフラを二重にして事業継続性が高まります！と、提案させて頂いた。最近では建物の建築に当たり事前に水道の相談から入って、カーテンウォール（高層ビルの外壁パネル）等の顧問先のメーカーの製品も建築工事で役立てて頂ける場面が増え、嬉しい。

東日本大震災を経て、災害時にどうやって事業を継続するかというBCP(事業継続計画)がクローズアップされる。そのためには食料や通信、交通、電気だけでなく、水の確保が欠かせない。昨年3月11日の震災当日朝10時、筑波大学付属病院で電源開発の井水利用専用水道の通水式があり、午後の地震発生と同時につくば市の水道は全面停止になったが、市水が再度通水するまでの三日間、井戸水だけで病院機能を維持することが出来た。

能代高校同期の小野寺君が社長、高島会長が三鷹寮の先輩の住友不動産でも、とりあえず古井戸のある、高橋カーテンウォールのPCカーテンウォールを全面的に採用して頂いた西新宿8丁目の再開発ビルと、これから建て替える六本木3丁目の大型高層ビルに、電源開発の井戸水利用専用水道システムを導入、水道インフラを二重化、セキュリティを高めた上で、水道料金を削減するプロジェクトを進めることを提案。ノーリスク、投資負担、

メンテナンスコストゼロで、ビルのセキュリティ=付加価値が高まり、年間千万円単位で経費削減=利益増の提案に、話がうますぎると思ったと半信半疑だった担当者も、大口ユーザーに厳しい(東京で立米400円、個人は200円)料金体系に問題があり、そこにビジネスチャンスがあることを理解すると、俄然積極化、全200棟のテナントビルで、導入可能性をチェックすることに。

ところが電源開発が区役所で調べると、六本木の井戸は廃止届けが出され、西新宿については井戸の廃止と新設届けがされている。都条例では平成13年以降井戸の新設は原則禁止され、緊急時用に径1インチ(6センチ)、2.2キロワットのモーターの井戸しか新設できず、それも150立米の能力があるのに、1日10立米しか汲み上げられないという制限があり、区の担当者レベルでは如何ともし難いとのこと。多くの人が働き、災害時には避難場所ともなる耐震性能の高いビルの水道システムを二重化、セキュリティが高まることは区にとっても歓迎すべきこと。区長権限でどうにかならぬか? 翻って不合理な都条例自体を改正できないか? 黄金の泉を有効利用出来ぬかと思う。

◎できる社長の金の使い方

本郷の東大キャンパスの学生会館分館跡地に、イトーヨーカドー創業者の伊藤雅俊・伸子ご夫妻寄贈の伊藤国際学術研究センター・伊藤謝恩ホールが完成、5月下旬の御披露目パーティーに大学から招待される。赤門の手前の学生会館分館を潰し、大正時代のレンガ造りの古い書庫も改造・再利用、地下3階、地上5階、床面積5562平米の建物を造った。外壁を赤いレンガで被われた建物は伝統的なキャンパスの建物と調和、重厚な、落ち着いた雰囲気を出す。内装も外壁と同じ色調のオークを床や壁に使い、古いレンガの外壁も内壁に利用、素敵だ。

ここが、新しい東大の社会連携、国際交流、人材育成の中心となるべき、「伊藤国際学術研究センター」。500人収容の多目的ホールや椿山荘が運営する洋食レストラン、バーもあり、会食したり、寛いだりも出来る。ヴァイオリンからコントラヴァスまで、6人編成の弦楽奏団がチャイコフスキーを奏でてくれる。スイッチ一つで講演用と演奏用に切り替わる最新の音響システムも備えている。伊藤さんが登壇。戦後二坪の洋品店からスタートしたイトーヨーカ堂グループが9兆円の売上を誇るまでに支えてくれたお客様への感謝の気持、学業半ばで学徒動員で逝った学生や小学校卒業で働き自分を横浜商業高等専門学校まで出してくれた叔父さんの学問への想いを形にしたいと、とつとつとその心中を吐露。つい熱いものが込み上げる。東大も期待に答えなくてはと思う。

伊藤さんは最後に、「出来る社長のお金の使い方」という本を差し上げますという。実業の世界で成功するノウハウが得られると期待する。パーティーがお開きになり、出口で受け取った紙袋の中には英語の本。出来る社長になるにはまず英語から勉強しないと!

◎「芥川賞と私」……東大三鷹クラブ第103回定例懇談会のご案内

黒井千次君は、日本芸術院会員で、この1月まで芥川賞選考委員でもあった。知名度から言えば、今更、紹介でもあるまいとの声が聞こえそう。しかし、畏友、平賀俊行君のご指名である。文学音痴の私ごときが、との思いもなくもないが、筆を執る。

黒井君(本名=長部舜二郎君)と平賀君、そして私は、ともにトリーズ会(26年入

学文-13DのOB会)のメンバーである。彼は、その年譜に依ると、高校時代から、同人誌を舞台に創作活動をする根っからの文学少年であったようで、大学でも、文学への志向は変わらなかった。だが、私淑する野間宏の勧めもあり、本郷は経済学部に進み、マル経のゼミに属した。この点では、法学部を迂回して経済学部に辿り着いた私の先学でもある。卒業後は、富士重工に就職、サラリーマン作家として名を成す。いつか、私の大学に招いた時、〈小説における事実とフィクション〉といったテーマの講演を聴いた。学生たちを前に、職場を題材に創作活動をする悩みについて、面白可笑しく話してくれた。そんな悩みのせい、あるいは、文学で一本立ちできる時機到来となったせい、1970年、〈専業〉の作家に転身、次々に作品を発表する。その前後から、私の知る限りでも、『聖産業週間』が評価され、『穴と空』が芥川賞候補になったのを皮切りに、『時間』で芸術院選奨新人賞、『群棲』で谷崎潤一郎賞、『カーテンコール』で読売文学賞、『羽と翼』で毎日芸術賞、『一日 夢の柵』で野間文芸賞といった具合に、わが国の文学賞を総嘗めにする。又、往時の高校生活を描いた自伝風の作品『春の道標』は、高校推薦図書になり、共通一次試験にも出題された。

文学に疎い私には、初期の資本主義企業の内部を抉った作品や、メーデー事件を原風景とする作品群は親しみ易く、彼の隠れファンとなった。とくに、『羽と翼』には、老齢に達し企業戦士を了えた世代が、若き日に読んだ体制批判的な古典に立ち返る情景などが書き込まれており、卒業生を鼓舞したいとの下心で、私の勤務していた学部同窓会誌に、紹介文を書いたりもした。

昨今は、黒井君は、小説『高く手を振る日』やエッセイ集『老いのかたち』で洛陽の紙価を高からしめている。老人にとって、なんとも身につまされ、読み進むのが辛い程である。なるほど、これが〈社会派純文学者〉— そう呼んでよければ — の真骨頂かと、頭を下げざるを得ない。

(1951年入寮 吉原泰助)

日時：平成24年7月20日(金) 18時30分～21時

場所：学士会館本館203号室(千代田区神田錦町3-28 TEL 03-3292-5931)

講師：作家 黒井千次氏 (昭和26年入学 都立西高卒)

会費：5000円(会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み)、別途二次会あり。

申込先：(有)ティエフネットワーク Email: tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎唄姫サラから久しぶりメール

08年シドニーからの交換留学生のサラちゃん、ハリウッドでもデビュー後音沙汰なく心配してましたが、ユニバーサルミュージックで「音の沙汰」になっているようで、楽しみです。三鷹寮の唄姫から、世界の唄姫に飛躍出来ると嬉しいのですが。ホームページ覗いてユニバーサルに活躍出来るように、応援して下さい！以下は彼女からのメール。

◇干場様 大変ごぶさたしております。お変わりありませんでしょうか？おかげさまで、私はこの度メジャーデビューすることになりました。ユニバーサルミュージックという、まさに「ユニバーサル」なレコードレーベルです。

http://www.universal-music.co.jp/classics/artist/sarah_alainn/

6月20日にデビューアルバムがリリースされる予定です。なんと、プロデューサーは昔加藤 登紀子さんのプロデューサーでもあったので、ご縁を感じますね。先月ニュージー

ランドでPVの撮影をしにいきました。美しい大自然の中で演奏ができて、幸せでした。映像はこちらで少し見ることができます：

<http://www.youtube.com/watch?v=BiUIghzxyZo&feature=youtu.be>

本当に色々お世話になりました！これからは日本、世界をベースにして頑張っていきたいと思います。暑くなってきましたので、御体にお気をつけて下さい。 ・Sarah Alainn・

◎初めての歌舞伎町

◇兼子です。先日のしゃぶしゃぶはとても美味しかったです。次の寮の留学生交流会を兼ねたコンパの日程が決まったので連絡します。日時：5/25（金）19時～、場所：三鷹寮で行います。もしお時間の都合がございましたら足を運んでくださるとありがたいです。

初めて歌舞伎町に足を運んだので、周りのお店を見ながらすごく衝撃的でしたが、「無門」では外の空気とは全く異なるゆったりとした空気で普段はなかなか食べられないような食事でした。僕も和食は好きなのですが、一人ぐらしですと食も偏ってしまいます。去年の、僕の記憶が正しければ5/29だったと思いますが、干場さんに「駒形どぜう」の方に連れて行ってもらったのを覚えています。あのときは新入生が僕一人だったので、ふと大学生活の一年間の短さに郷愁を覚えています。

留学生にその国の料理を作ってもらおうという案はとてもいいものだと思います。先日フィリピンの留学生がフィリピン料理を作ったので食べに来ないかと連絡があって、アジア料理に興味を持ちました。早速会議で提案してみたいと思います。僕たちも他国の料理作りを手伝うなどすることによって、より国際文化交流ができると思います。

◇干場です。連絡ありがとうございます！三鷹クラブからいつものすし桶持参で、参加します。二次会の和食の華屋与兵衛も予約しておきます。先日は新入生歓迎会の慰労会、初体験の夜の歌舞伎町で目を白黒させたみたいだけど、剥き出しの欲望の渦巻く街で、欲望をコントロールする術を学ぶのも必要です！居酒屋「無門」でのたらば蟹と黒豚しゃぶしゃぶのコース料理、喜んで頂けたようで、何よりです。「味は文化」なので、国際交流のためにはお互いの「食」を知ることが大事、そのために幅広い和食を経験することも必要です。

交換留学生在が帰国する前に今年も「駒形どぜう」渋谷店でどじょうと鯉料理、鯨をご馳走しましょう。米作で農薬が多量に使われるようになって、田んぼからどじょう等の水生動物が消え、日本の空から朱鷺やコウノトリが姿を消す一因になり、どじょうを食べる習慣も廃れました。鯉も田んぼで飼われて除草剤の代わりをし、秋には食卓も飾ってくれたものです。寿司や刺身で生の海の魚に舌鼓を打つようになった留学生諸君も、淡水魚を生で食べる日本文化には仰天するでしょう。日本では鯨油だけ取って残りは捨てる欧米の「無駄に殺す」鯨漁と違って、大昔から、肉、骨、皮、ヒゲに至るまで、余すところなく利用、「成仏」させて来ました。鯨漁は日本の文化で、国際的な資源管理の下で、適切な鯨漁を継続することが必要だということを、留学生だけでなく、皆にも知って欲しい！

味は文化であれば、交流会で、留学生に「日本の味」を提供するだけでなく、留学生諸君にそれぞれの国の味を提供して貰い「国際文化交流」するのはどうでしょうか？チャイニーズには水餃子、ベトナムの留学生には生春巻という感じで一品ずつ作って貰う、民族音楽や、民族舞踊を披露して貰うというのも如何でしょうか？コンパだけじゃなくて、音楽祭や体育祭等も継続し、何事かをまとまってする。交流の輪を広げる。その作業の中で

切磋琢磨、ガバナンスの術を身につけて欲しいですね！

◎留学生との交流会

5月25日（金）夜、三鷹寮の留学生との交流会へ。二次会の華屋与兵を予約しようと当日電話するが、8時から予約が入っていると断られる。仕方なく最初の食べ物と酒が無くなった所で、もう一度寿司とピザ、ケンタッキーを頼み、酒を買いに走って貰う。それでも何となく物足りなく、座敷も空いてる頃だと、断られるとまずいので電話はせず、11時近くに華屋与兵へ。食べ物も酒もない、板前ももう一人しかいないというのを、ある物、出来る物でいいからと、30人余りを引き連れ半ば強引に、空いている座敷に上がり込む。30分くらい付き合っ、終電で帰る訳にも行かず。閉店まで近所に住む辰先輩と一緒に付き合い、晴海までタクシーで帰る。

若い諸君と付き合い始めて20年近くになるが、テーマを持って集い、飲むというレベルから、ただ集まり 飲むというレベルに後退しているようなのは残念だが、まずは杯を交わし、絆を作り、強め、共に考え、行動するきっかけになると嬉しい！

◎久し振り事務所コンパ

6月18日（月）留学生との交流会の慰労会を兼ね、久しぶり🍷事務所でコンパ。参加者は、兼子健太郎（2011年入寮・理I・下関西）・畑山優大（2011年・理I・苫小牧東）・和田崇史（2011年・理I・東邦大東邦）・庄司惟（2012年・理I・聖ウルスラ英智）・野原裕一郎（2012年・文II・甲陽学院）・江川拓也（2012年・理I・小倉）・柳沼和也（2010年入寮・理I・郡山）、OBが井上豊（1968年・文I・愛光）。

◎アマダイのスリランカ紀行（JTB 旅物語「初めてのスリランカ6日間」、'11.9.17～）

① 地酒のアラック初体験

昨年のシルバーウィーク初日、9月17日（土）、京成上野10時40分発のスカイライナーで11時25分に成田空港着。朝余裕で支度を始めた積もりが、11時の集合時間に30分遅れる。出国審査があるとはいえ、なぜフライトの二時間も前に空港に着く必要があるのか？目的合理的思考が身についた身には、フライト二時間前に空港集合という指示を守るインセンティブが働かない。まして今回は添乗員なしで、遅刻は全然気にならない。

成田を1時過ぎに立つのに食事は機内食一回のみとあったので、お昼なしで、機内で早めの夕食が出て、ホテルに着いてから、カップラーメン作って食べるのかな？と思う。そこで京成上野駅のファミリーマートで、沢庵欲しさに鮭とおかかのおむすびセットを250円で買い、小ぶりだし、タラコも欲しいと、130円の焼きタラコのおにぎりも買う。三個も食べちゃった、鮭とタラコと二個買って、お新香を別に買った方が良かったかなと反省していると、機内食メニューが配られる。二食分のメニューが載っていて、早飯するんじゃないかと、二度目の反省。

水平飛行に移ると目鼻立ちくっきり、色黒のスリランカ美人が食事を配る。牛とパスタのメインディッシュに素麺、サラダとスイートとマズマズ。ランカビールもマズマズ。ココナッツ原料の蒸留酒の地酒アラックも頼むが、普通のウィスキーという感じで、特色なし。三杯目は白ワインを頼む。眠気と闘いスリランカ本三冊目を読み終えたところで軽食。

デザートのだら焼を除きハンバーグも調理パンも、早くもスパイスが効いたものばかり。調子に乗りビールを頼むが品切れだという。オレンジジュースで口を潤すと、どっと眠気。

8時間のフライトで着いた夕方6時半のコロンボは28度。バスでターミナルビルへ。入国審査、荷物受け取りと、添乗員なしなので、多少心許ない。出口をJTBと連呼しながら進むと黒光りする顔に大きな目玉を光らせた中年の男が現れる。

◎スリの多い島！？

空港でトイレに入ると、横にノブ付き水栓が伸びている。手動式ウォシュレットが気持ちいい。集まってみると総勢10人。現地ガイド、ディディさんの提案で、バスの中で珍しいことに軽く自己紹介。新婚・婚前旅行が二組、旧婚旅行が一組、一人参加の女3人と僕。ほどなく首都コロンボから少し離れたネゴンボの町のホテル着。ほど甘いグアバのウェルカムドリンクが美味しい。床、壁、天井が木製で結構広く、手動式ウォシュレットの他に思いがけずバスタブもあり、素敵な部屋だ。早い時間のアルコール抜きの機内食の夕食で、直ぐ寝付けるか？心配だったが、お風呂の後、持参の日本酒の栓を抜くまでもなく寝付く。

翌朝7時半ホテル発。懐かしい東南アジアの、貧しくも猥雑な街が続く。高層ビルもデパートやファッションビル等の近代的商業施設、コンビニ等も見かけない。勿論地下鉄等の大量輸送の公共交通機関はない。窓を開けて走るインドタタ社製の古い大型バスと日本製中古バンの乗り合いバス、一部東南アジアでは姿を消しつつある三輪車タクシー、それにホンダとも呼ばれるバイクが庶民の足だ。車は日産、ホンダ、ピックアップはいすゞや三菱と日本車が多いがトヨタが一番目につく。関税も高く新車の値段は日本の3倍するという。中古が幅をきかせる訳だ。

平均的なサラリーマンの月給は4~5万円だというのが、これまでアジア各国を歩いた経験からするとそんなにあるような気はしない。ディディさんのレベルでということかも知れない。因みに日本貿易振興機構(JETRO)の調べでは2010年8月時点の基本給ベースで月額120ドル。ミャンマーの41ドル、バングラディッシュの54ドルよりは高いが、カンボジャ101ドル、ベトナム107ドルと同程度で、中国の303ドルの三分の一程度だ。賃金の上がり過ぎた中国に代わる工業生産・輸出基地としてベトナムやカンボジャがもてはやされ、ミャンマーやバングラディッシュにも光が当てられている。教育レベルも高く、労働コストが安く、大市場インド、中東、ヨーロッパにも近いスリランカの政情が安定し、インフラの整備が進めば、日本からの企業の進出が進むのではないだろうか？

失業率は高いが病院と学校は国立で、大学までの教育費と医療費はただとディディさん。医者や教師は人気の職業で、始業前の朝、昼休み、終業後とアルバイトで稼げるという。アルバイトでは教師も負けていない。ひどいのが警官で、直ぐ賄賂を要求するという。それに輪をかけてのが政治家だ、一度当選すると食いつぶれぬという。これではスリ(光輝く)ランカ(島)ではなく、スリの島だ！北部、東部のタミール人居住区との分離独立を求めるタミール・イーラム解放の虎(LTTE)との長期に渡る内戦を、一昨年の凄惨な包囲・殲滅戦で制したというのに、これから先の復興が思いやられる。(次号に続く)

◎終わりに

今回で103回目の、東大三鷹寮の同窓会、「東大三鷹クラブ」の定例講演会に合わせ、その告知も兼ね、最近は隔月に一度発行する「アマダイ通信」も今回で90号。これを記念、封筒の表の番号下二桁90番の方にはささやかではありますが、故郷白神の幸を送ります。

ざっと15年間続いた勘定だが、当座は四半期に一回くらいの発行だったので、もっと長く続いている。随分物好きな、多分に露悪趣味的な物を出し続けていると赤面もするが、ここまで来ると簡単には止められない。曝け出すという点でビジネス的にはマイナスの面もあるが、印象に残る、憶えていて貰えるというプラス面もある。面白いよ！と言ってくれる人がいると直ぐその気になってしまう。

郵送料が安くなった分、ページ数が増えてしまったが、今回は1ページを🐞も参加する「黄土高原植樹ツアー」の案内に提供します。一緒に参加しませんか？再見！

「黄土高原植樹」夏のディープチャイナツアーのご案内

旅行代金

170,000円

*国際航空運賃、航空保険料、中国国内での交通費/食費/宿泊費を含みます。

*航空会社：中国国際航空

*関西空港発着

*旅券取得費用、個人行動時の費用、旅行保険料は含みません。

*関西空港使用料、中国空港税、燃油特別付加運賃は別途お支払いください。合計で17,500円程度（2012年5月現在）になりますが、原油価格・為替相場の変動に伴い変更される場合があります。

*GEN年会費（一般＝12,000円 学生＝3,000円）は別途お支払いください。

*羽田発着便利用を希望の方はご相談ください。

スケジュール（変更になる場合があります）

日時	スケジュール	宿泊
8/19 (日)	9:30関西空港発（CA162便）集合は2時間前 北京空港到着後バス（専用車）で大同市へ	明珠国際 商務酒店
8/20 (月)	南天門自然植物園で緑化活動	明珠国際 商務酒店
8/21 (火)	大同の農村で緑化活動	雲崗国際 酒店
8/22 (水)	大同の緑化拠点「カササギの森」で活動	雲崗国際 酒店
8/23 (木)	大同の緑化拠点「緑の地球環境センター」で活動	雲崗国際 酒店
8/24 (金)	雲崗の石窟見学、大同市内観光。夜行列車で北京へ	車中泊
8/25 (土)	早朝、北京着。北京市内観光。 16:25北京空港発（CA161便）20:30関西空港着	

募集予定人員

35名程度（最少催行人員12名）

申込締切

7月5日（木）（定員に達し次第しめ切ります。早めのお申込みを。申込締切をすぎたの参加はお問い合わせください）

添乗員

同行しません（緑の地球ネットワークスタッフが関西空港から同行します）

○どんなところ？

大同は北京の西300km、黄土高原の東北端に位置し、沙漠化の最前線であり、風砂の源でもあります。

○緑化活動って？

造林地での植樹や、緑化協力拠点での植樹、移植、

苗作りに関する作業などを大同滞在中2～5時間程度行ないます。自分のペースや体調にあわせて作業しますので無理なく体験できます。参加資格、年齢制限はもうけていませんが、自分の行動に責任を持ち、集団行動ができ、夜行列車を含む旅程にたえる方というのが最低限の前提です。

黄土高原と大同の位置



ツアーの内容について「もっと知りたい!」と思ったら、お気軽にお問い合わせください。

資料請求もこちらまで。

認定NPO法人 緑の地球ネットワーク (GEN)

〒552-0012 大阪市港区市岡1-4-24-501 Tel. 06-6576-6181 Fax. 06-6576-6182

E-mail: gentree@s4.dion.ne.jp URL: <http://homepage3.nifty.com/gentree/>

■ツアー参加の申込みはこちらまで（資料の発送も担当します）

株式会社 マイチケット（エアワールド（株）代理店）担当：藤原
兵庫県知事登録旅行代理店業第142号（旅行業務取扱管理者 山田和生）
TEL: 06-4869-3444 FAX: 06-4869-5777
〒660-0084 尼崎市武庫川南4丁目27-1
E-MAIL: fujiwara@myticket.jp URL: <http://www.myticket.jp>



■旅行企画・実施

エアワールド株式会社
観光庁長官登録旅行業第961号
日本旅行業協会（JATA）会員
〒540-0026
大阪市中央区内本町2-2-14-207号